



男山団地 (提供: 関西大学 倉知)

2014年12月3日(水) 13:30-17:30

「サステナブル社会のまちづくり」国際シンポジウム

共 催: 明治大学サステナブル建築研究所 + 国際連携本部

後 援: 団地再生支援協会、UR 都市機構、国土交通省、都市計画家協会、東京自治研究センター、
東京市町村自治調査会、関西大学地域再生センター、文化日独コミュニティ

滋賀会議:

滋賀で考えるサステナブルなまちづくり

会場 : 滋賀県立大学・交流センター

参加費: 無料

定員 : 100名 (定員になり次第締切)

主催 : 滋賀県立大学地域共生センター・近江地域学会

用語 : 日本語・英語 (逐次通訳)、和英併記配布資料あり

かつての人口急増時代に都市で建設された団地は現在急速に遊休化が進んでいる。同じく人口減少時代に突入した地域のどこでも、もちろん滋賀でも、これまで整備されてきた民間、公共を問わずあらゆる人工資産が遊休化を迎えている。空家、閉ざされた商店、大規模施設や工場の閉鎖が生まれている。これをきっかけに地域の衰退への道を進むのか、地域再生に活かすリソースとして活用するのか、大きな分かれ道である。どのようにすれば、遊休資産化を活かし、地域再生へ進むことができるのか、ドイツの経験も踏まえながら議論する。

プログラム

13:00	受け付け
13:30	主催者挨拶 大田 啓一 (滋賀県立大学長)
13:40	主題解説 「団地再生とサステナブル社会のまちづくり」 澤田 誠二氏 (明治大学、団地再生支援協会)
	「ドイツ・EUにおけるコンバージョン、リノベーション」 松岡 拓公雄 (滋賀県立大学教授、建築家)
14:20	「ドイツ・チューリンゲン州のIBA 地域再生プロジェクト」*英日逐次通訳 H. シュトレープ氏 (ドイツの都市計画家)
15:20	「滋賀のサステナブルな地域づくり」 仁連 孝昭 (滋賀県立大学地域共生センター長)
15:40	事例報告 「高島市の大規模家屋コンバージョンとまちの再生」 三ツ矢隆敏氏 (高島びれっじ事業協同組合 前代表理事)
16:00	ディスカッション 澤田 誠二氏、松岡 拓公雄、H. シュトレープ氏、仁連 孝昭
17:30	会議終了

登壇者



H. シュトレープ氏
ドイツの都市計画家



澤田 誠二氏
明治大学、団地再生支援協会



松岡 拓公雄
滋賀県立大学教授、建築家



仁連 孝昭
滋賀県立大学地域共生センター長

問合せ・申込み

問合せ

滋賀県立大学地域共生センター

Tel: 0749-28-9851

参加申込

<http://coc-biwako.net/>

より申込書をダウンロードし、所定事項記入の上、事務局宛にメール、あるいはファックスしてください。

滋賀県立大学地域共生センター

Mail: coc-biwako@office.usp.ac.jp

Fax: 0749-28-0220

会場へのアクセス

JR南彦根駅から

バスで15分/タクシーで8分

